

窒素多施用条件で硝酸態窒素濃度が低いイタリアンライグラス新品種「LN-IR01」「SI-14」

目的と特徴

- ・反すう家畜の硝酸塩中毒の原因となる硝酸態窒素を自給飼料中に蓄積させないためには、適切な肥培管理が最も重要ですが、イタリアンライグラスにおいては、「ワセアオバ」や「優春」といった硝酸態窒素を蓄積しにくい品種の利用も有効です。
- ・硝酸態窒素濃度が「ワセアオバ」「優春」より低い新品種「LN-IR01（商品名：ゼロワン）」と「SI-14」を開発しました。

主要な品種特性

- ・ 窒素多施用条件の硝酸態窒素濃度が既存の品種より約20%以上低いです
- ・ 出穂期は早生で、収量性は既存の早生品種と同程度です



「LN-IR01」の草姿

平成25年4月4日、群馬県伊勢崎市



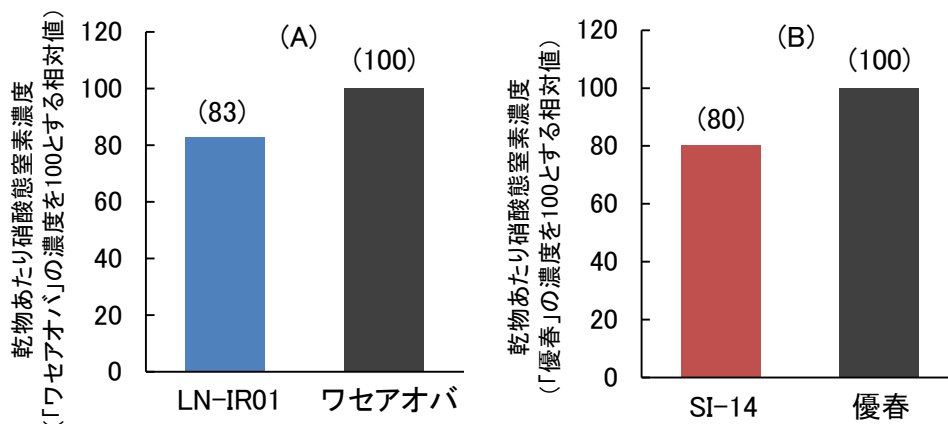
「SI-14」の草姿

平成26年4月29日、栃木県那須塩原市

成果

- ・ 窒素多施用条件において硝酸態窒素濃度が「ワセアオバ」「優春」より約20%低いイタリアンライグラスの生産が可能です。
- ・ 乾物収量等の主要特性は既存の早生品種と同程度です。

硝酸態窒素濃度が最も低い既存品種より約20%低い！



- 1) 栃木県那須塩原市で実施した調査結果
- 2) 硝酸態窒素を高濃度に蓄積させるため、施肥基準の2倍量以上の堆肥や窒素肥料を施肥した
- 3) (A)は平成24年の調査結果、(B)は平成25年と26年の調査結果の平均値

「LN-IR01」「SI-14」の主要特性

乾物収量等の主要特性は既存品種と同レベル！

| 特性 | (A) | | | | (B) | | |
|-------------------------|---------|-------|------|-------|-------|------|-------|
| | LN-IR01 | はたあおば | いなずま | ニオウダチ | SI-14 | 優春 | はたあおば |
| 1番草の出穂始日 | 4/11 | 4/11 | 4/11 | 4/12 | 4/27 | 4/26 | 4/29 |
| 1番草の乾物収量 (kg/10a) | 1074 | 1083 | 1124 | 1024 | 995 | 976 | 914 |
| 1番草と2番草の合計乾物収量 (kg/10a) | 1619 | 1630 | 1687 | 1571 | 1274 | 1243 | 1156 |
| 1番草の乾物率 (%) | 14.9 | 14.6 | 15.0 | 14.7 | 17.8 | 18.7 | 17.6 |
| 1番草の草丈 (cm) | 108 | 102 | 106 | 103 | 116 | 119 | 118 |
| 耐倒伏性 (1無~9甚) | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 6.3 | 7.8 | 7.2 | 7.0 |

- 1) (A)は群馬県伊勢崎市で実施した平成24年の調査結果、(B)は栃木県那須塩原市で実施した平成26年の調査結果
- 2) 施肥量は標準レベル

対象作物、普及対象

- ・イタリアンライグラス、暖地・温暖地

対象農家

- ・自給飼料生産を行っている畜産農家

必要な道具

- ・従来のイタリアンライグラス生産と同じ

その他

- ・「LN-IR01」はカネコ種苗(株)から販売されています(商品名:ゼロワン)。
- ・「SI-14」は雪印種苗(株)から平成27年秋より販売される予定です。
- ・窒素施肥量が多すぎる場合には、「LN-IR01」「SI-14」を利用しても、硝酸態窒素濃度がガイドライン値である乾物あたり0.2%を超えることがあります。硝酸態窒素濃度の低減には、都府県の施肥基準に従い、堆肥等を多量に施用しないことが重要です。